



どうなった あの一般質問の行方は

文化財の観光産業への活用は

本町の文化財の整理、保管、調査、研修をすすめ文化財の普及啓発に努める拠点が必要であるが、注目度の高い文化財の観光産業への活用を視野に入れた町づくりの政策は考えられないか。

平成18年第4回定例会質問

中山 美幸 議員

町長答弁

必要性を感じている

本町は歴史のある町であり、町全域に遺跡・文化財が点在している。横瀬古墳や神領古墳などの案内板・展示室の整備など国・県の補助を調査研究し、観光産業活用を進めたい。

町長答弁

どうなった

情勢の変化により困難である

現在、学校教育施設等の耐震診断や耐震補強等が喫緊の課題となっていることから、今のところ、横瀬古墳を核とした施設の整備は困難である。当面は、文化財を活用した教育活用などソフト面に重点をおいた取り組みを行う。

住民課の窓口サービス向上策は

窓口のサービス向上策として窓口案内係配置の考えはないか。また、各種証明書を発行できる自動交付機設置の考えはないか。隣接市町に遅れている戸籍の電算化はできないのか。

平成17年第4回定例会質問

坂元 正春 議員

町長答弁

窓口サービス向上検討部会で検討

職員による「窓口サービス向上検討部会」を立ち上げ事務改善に向け検討中である。総合案内設置、自動交付機設置についても検討中である。戸籍の電算化は財政的検討を踏まえ、早い時期に実施していく。

町長答弁

どうなった

戸籍の電算化は進める

総合案内については、住民課窓口で関係部署に案内するなど親切丁寧な対応を心がけ、同等のサービスに努力している。自動交付機設置は、システム開発等財源を要することから月曜日の窓口時間の延長で対応。戸籍の電算化は、早い時期に実施を予定し検討中。

※ 過去の定例会での一般質問の中から一部をピックアップして、その後、どのように町政に反映されたかを検証します。